

防災対策特別委員会 総括質疑順序（案）

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類 1 災害の被害想定	1	(1) 民間技術の活用について 本市の地形は、斜面地を含め独特のものがあるが、民間事業所における災害・台風被害シミュレーション技術等を活用して、防災・減災につなげる取組の考えはないか。	井上 重久
分類 2 避難所の整備	2	(1) 避難所環境の改善について 近年の気候変動の影響による平均気温上昇を踏まえた熱中症対策の観点から、避難所となる学校体育館への空調機器の導入が必要と考えるがいかがか。	竹田 雄亮
		(2) 避難所環境の改善について 避難所の環境は高齢者の身体的負担に影響し、長期間の避難においては災害関連死に至るケースも散見される。空調設備等の設置を検討する考えはないのか。	梅原 和喜
	3	(1) 避難所運営における「スフィア基準」導入への考え方について 国は避難所運営に関する自治体向けの指針を、国際基準とされるスフィア基準を反映し、本年度内に改定する方針であるが、本市としてスフィア基準にどう近づけていく考えなのか伺いたい。	向山 宗子
分類 3 都市の防災機能の向上	4	(1) 水道の防災力について 避難所や病院など災害時に拠点となる重要施設と接続する管路の耐震化は優先的に取り組む必要があると考えるが、現状と今後の計画について伺いたい。	中西 敦信
分類 4 地域防災力の向上	5	(1) コミュニティタイムラインやマイタイムラインの普及啓発の考え方について 今年度からコミュニティタイムラインを導入し、地域に対する普及啓発を行っているが、実績が少ない。また、自助を市民に訴えるため、マイタイムラインの普及啓発も重要だと考えるが、本市として、今後どのように普及啓発していく考えか伺いたい。	向山 宗子
		(2) マイタイムラインの普及について 市民へのマイタイムラインの浸透については、自治会を中心に推進するとのことであるが、自治会に属さない方も多数いる。企業や学校等と連携してマイタイムラインの普及をする考えはないか。	森 きょうへい
	6	(1) 地震時のコミュニティタイムラインについて 風水害の時のコミュニティタイムラインを地域防災マップとあわせて作るということだが、地震の時のコミュニティタイムラインも作っていく考えはないか。	山崎 猛
	7	(1) 避難行動要支援者への取組について 要支援者の災害時の行動としてサポートする側との連携をスムーズにつなぐ仕組みをどう取り組むのか。また、逃げ遅れ等の状況把握と対応について、タイムラインの観点も含めて伺いたい。	久 八寸志
		(2) 避難行動要支援者への取組について 個別避難計画の調査においては、かなりの時間を有するようだが、時間の効率化も含めその情報収集からのＤＸ化や活用について伺いたい。	久 八寸志
	8	(1) ささえあいの体制について 個人情報に厳しい時代ではあるが、どこに誰が住んでいるか、特に高齢者・障害のある方々の情報をどうやって共有していくのか、検討状況を伺いたい。	山崎 猛

防災対策特別委員会 総括質疑順序（案）

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類 4 地域防災力の向上	9	(1) 災害時における外国人居住者の対応について 本市には外国人住民がいるが、大半が自治会などの地縁コミュニティに属しておらず、災害時に孤立する可能性がある。本市としてどのように情報共有や対応を考えているか。	森 きょうへい
	10	(1) 自主防災組織における防災活動について 自主防災組織において、高齢化の進展などにより自治会組織率も低下する中で、単位自治会での訓練実施が難しい等、防災活動の継続が困難となっている。このような状況の中で、課題をどのようにして解決していくのか。また、地域防災マップの作成や更新、見直しなどの対応について伺いたい。	井上 重久
	11	(1) 地域防災力の強化について 消防団の充足率向上への取組と常備消防力の現状について伺いたい。 また、自主防災組織は日常の活動が重要だと考えるが、活動の活性化のための取組について伺いたい。	中西 敦信
	12	(1) 防災教育への取組について 市内では「地域コミュニティ連絡協議会」や「まちづくり協議会」が設置されている。 地域での行事や郷くんち等への小中学生の参加もあり、今後は「防災」をキーワードにした災害に強いまちづくりに若者の意見を取り入れる等、出前講座を通じて若者の心の醸成につなげて行くべきと考えるが、防災教育の計画について伺いたい。	梅原 和喜
		(2) 防災教育への取組について 昭和57年の長崎大水害の記憶の継承をはじめ、これから起きるかもしれない南海トラフ地震や自然災害などに対して、子どもたちのタイムラインの意識向上を目的とした自らが考える防災教育への取組が必要になると考えるが、本市の取組状況とこれからの取組について伺いたい。	久 八寸志
分類 5 災害発生時の関係機関との連携	13	(1) 災害対策本部の立ち上げについて 本市の災害対策本部立ち上げについて、民間の各リエゾンからも事務員やメンバーなど各1名～数名に参集してもらうよう要請をかけるべきであるとするが、市の見解を伺いたい。どのように行政として対応し、すみ分けを行っているのか。	澤勢 みずき
	14	(1) 医療・福祉・介護の各民間団体との協力体制について 防災対策について医療・福祉・介護の各団体との連携のため協定を結ぶなど体制を整えるべきであるとするが、市の考えを伺いたい。	澤勢 みずき
	15	(1) 災害時のケアについて 近年の災害で話題になるメンタルケアについて、どのように検討しているのか。	山崎 猛
	16	(1) 災害時における情報処理等について 長崎市役所では膨大な個人情報や機密性の高い情報を取り扱っているが、災害時における対策について伺いたい。 また、受援計画において、情報（ＩＴ）の処理者や専門家の応援をもらう必要があるのではないかと考えるが、本市の見解を伺いたい。	森 きょうへい

防災対策特別委員会 総括質疑順序（案）

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類 6 物資支援や災害備蓄	17	(1) 災害発生時の関係機関との連携について 「海の駅」を活かした防災拠点に係る社会実験、災害時における合同物資輸送訓練、災害時輸送実験を踏まえての、国・県・市の連携による、物流拠点としての対応について伺いたい。	井上 重久
		(2) 物資支援への対応について 物資支援における調達・輸送支援・体制整備に対する、物資の必要量の把握、支援システムへの登録・構築について、具体的対応を伺いたい。	井上 重久
	18	(1) 物資の保管・管理について 送配については民間といろいろな協定が結ばれているが、保管・管理がうまくいかないと効率が悪くなる。タグやバーコードなど民間の知恵を使ったらいいと考えるが、導入する考えがないか伺いたい。	山崎 猛
	19	(1) 備蓄品や支援・救援物資の受入れ、配送計画について 民間の宅配業では、ドライバーの働き方改革で2024年問題としてドライバー不足の問題とともにドライバーの高齢化の問題が起きているが、災害時の物資受入れと配送に影響はないか。 ①ドライバーの確保はできるか。 ②物資の受入れや配送準備をする人の確保はできるか。 ③その他、影響はないか。	中里 泰則
	20	(1) 防災備蓄食について 食物アレルギーの患者にとって、避難所に配給される食物がアレルギーを含む危険なものにならないようにする必要があると考えるが、本市の備蓄食のアレルギー対策はどうなっているか。	竹田 雄亮
	21	(1) 災害備蓄の充実について 備蓄量の算定は長崎大水害の避難者数（約3千人）としているが、少なすぎる。地域防災計画による被害想定を備蓄量の算定の基礎とするべきではないか。県の基本方針に沿った備蓄計画を策定するべきと考えるが、見解を伺いたい。	中西 敦信
分類 7 国民保護	22	(1) 自然災害と武力攻撃や大規模テロの相違について 何が起きているのか、外形上は分からない部分もあると考えるが、市民へ正確な情報を伝達する仕組みはどうなっているのか。	梅本 けいすけ
		(2) 自然災害と武力攻撃や大規模テロの相違について 相手に意図があり、第二、第三の攻撃が起こるおそれがあるが、本市の安全に市民の避難誘導を行う仕組みはどうなっているか。	梅本 けいすけ
		(3) 自然災害と武力攻撃や大規模テロの相違について 殺傷を目的とした武器により、被害が空間的・時間的に拡大するおそれがあるが、市民や職員等の安全を確保する仕組みはどうなっているのか。また、防災と国民保護の相違を本市の立場で伺いたい。	梅本 けいすけ
		(4) 自然災害と武力攻撃や大規模テロの相違について 国民保護の重要3項目は、住民の避難・避難住民の救援・武力攻撃災害への対応であるが、本市の指針と取組、対応手段について伺いたい。	梅本 けいすけ